CONTENTS

白楽荘デイサービス・偕楽荘　共同作品
さくらのつるし飾り　p 2
CONTENTS/ 常務のつぶやき　p 3

■シリーズ　楽友会ってこんなトコ
認知症対応型デイサービス
ほのぼの堀之内ＯＰＥＮ
p 4

■介護のお役立ち情報
認知症かな？と思ったら
p 8

■栄養士’ｓキッチン
さばのちゃんちゃん蒸し
p 14

寄附のお礼　p 15
事業所案内／ＡＣＣＥＳＳ

ほのぼの堀之内　スタッフ紹介　p 16

表紙
7階ケアワーカー
髙橋　俊一郎　作

みんなの文字®　このお知らせは、みんなの文字を使用しています。
みんなの文字は、一般社団法人UCDAが「読みやすさ」を認証した書体です。

常務理事の日々の生活から

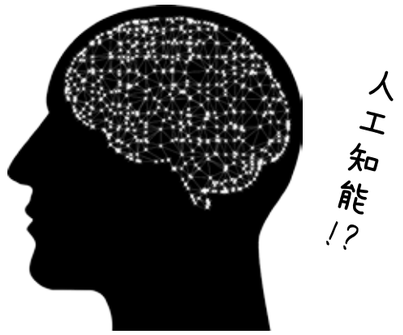
常務のつぶやき

　最近読んだ本のなかに「フレーム問題」という人工知能（ＡＩ）に関する話がありました。

　人間は視聴嗅味触覚など多彩で高度なセンサーを備えています。それらは同時多発的に様々な情報を拾うのですが、人間はその大部分を「無視」しているから行動できるそうです。例えば人工知能ロボットを人間と同様に自律行動させようとして、多種多様なセンサーを備え、情報収集能力を高めていくと、無限の情報処理を繰り返しフリーズしてしまう。そのため「無視」するという能力を再現しないと一歩も動けないという話でした。
この「情報によりフリーズする」について、思い当たることがあります。

　私の元には常日頃からありとあらゆる情報が寄せられます。自ら情報を収集することも当然あります。法人の内外を問わず、それこそ公式文書から単なる噂話までまさに膨大な情報です。

　はじめは目的を達成するために集まった（集めた）情報ですが、いつの間にか情報を処理することが目的となり、最終的には情報に縛られてどこにも踏み出せない、なんてこともあります。そんなときはある程度「無視」するということが必要・・・、もっとも、この「無視」する程度というものが非常に難しいのですが・・・。年度末の仕事に追われ日々悩みながら、春を迎えようとしています。



白楽荘デイサービス・偕楽荘　共同作品

さくらのつるし飾り

　寒さも緩み、春の訪れを感じる季節になりました。桜が咲くのを待ちながら、白楽荘在宅サービスセンターのデイサービスと、軽費老人ホーム偕楽荘のご利用者が、今回初めての共同作品を作成しました。

　「さくらのつるし飾り」は、和紙や桜色の折り紙を桜の形に切り取り、紐をはさんで貼りあわせて作ります。丸ビーズや銀色のシールをアクセントに、ご利用者の感性で色や模様を考えながら取り組みました。赤、白、ピンクの模様がとても華やかです。施設4階入口に飾られた、たくさんのつるし飾りで、早くも満開を迎えた楽友会。新年度を明るく、あたたかい雰囲気で迎えることができました。

　これからもご利用者の作品をたくさんご紹介していきたいと考えています。ご利用者をはじめ、ご家族や地域の皆様も是非ご鑑賞ください。